

イスラエル経済月報（2018年3月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 松本理恵）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道） 2

主要経済指標..... 5

1. 経済成長率（GDP）
2. 消費者物価指数（CPI）
3. 貿易（Export & Import of Goods）
4. 失業率推移（Unemployment Rate）
5. 為替推移（Exchange Rate）
6. 公定歩合（Interest Rate）
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）
8. 主要株価推移（TA35）

日本-イスラエル 経済関係..... 10

自動車 デンソー、イスラエルでサイバー、AI等の研究開発を始動
素材 TDK、急速充電 StoreDot と戦略的提携、出資
サイバー グローバルブリッジ、テルアビブに現地事務所を開設
通信 熊本モバイル、バーチャル SIM 技術の Simgo 製品取扱開始
アニメ エルサレムでアニメ・漫画の祭典、大使もルイージ姿に
企業DB ジャコーレ、イスラエル企業DBのIVCリサーチと提携
芸術 イスラエル博物館が上野でエッシャー展、“だまし絵”など
起業家 ゼロワンブースター、東京でイスラエル MeetUp イベント
IoT CRI ミドルウェア、IoTセキュリティ Terafence に投資
地域協力 ハネグビ地域協力大臣が訪日、河野外相と夕食会
AR/VR Aniwo、東京でイスラエル AR/VR セミナー開催
セキュリティ 東陽テクニカ、イスラエルと連携してセキュリティ製品提供

展示会・国際会議の今後の予定..... 14

農業 AgriTech（2018年5月8～10日、テルアビブ）
原子力 原子力社会会議（2018年5月8～10日、ヘルツェリア）
アドテック Video Ad（2018年5月15日、テルアビブ）
電気 RAX（2018年5月15～17日、テルアビブ）
バイオ MIXiii BioMed（2018年5月15～17日、テルアビブ）
セキュリティ Warfare（2018年5月15～16日、テルアビブ）
新規 新技術 New-Tech（2018年5月29～30日、テルアビブ）
新規 モバイル Mobile Summit（2018年6月5日、テルアビブ）
旅行技術 TravelTech Boodcamp（2018年6月10～14日、エイラット）
新規 金融技術 Brockchain Conf（2018年6月14日、エルサレム）
サイバー CyberWeek（2018年6月17～21日、テルアビブ）
テック NANO.IL.2018（2018年10月9～11日、エルサレム）
新規 キブツ Kibbutz Industries（2018年10月18日、テルアビブ）
セキュリティ HL S & サイバー（2018年11月12～15日、テルアビブ）

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 マーシャル諸島政府が発行する新たな仮想通貨ソブリン(SOV)の基盤技術を、アプリを通じた国際送金技術を持つイスラエル発スタートアップ Neema が開発中。
- 2日 エル・アル航空が、サウジアラビア上空の通過を求める CEO 名の書簡を国際航空運送協会に送った。サウジ上空の航行が許可されたエアインディアに対抗したものの。
- 2日 2月のイスラエルスタートアップ調達額は5億ドル超。フィンテック分野の Behalf 社(1.5億ドル)及び Pagaya 社(7,500万ドル)を筆頭に Moovit や OrCam が続いた。
- 4日 ギリシャ Energean 社は、カリッシュ・タニン天然ガス田の開発に係る 12.75 億ドルの資金調達契約を締結した。調達先はハポアリム銀行等の 4 銀行コンソーシアム。
- 4日 イスラエルのタバコ市場シェア 58%を有するフィリップ・モリスが、タバコ価格を値上げ。箱入りタバコは一箱 1NIS、手巻きタバコは一包 2NIS 上がった。
- 5日 1-2月の新車販売台数は 65,303 台で、前年同期比 7.3%減となった。業界関係者は、減少の理由を市場の飽和や中古車市場への過供給などの複合要因と見ている。
- 5日 議会(クネセット)金融委員会は、銀行間の口座切替制度の構築を承認した。各銀行は、顧客が口座移転を望んだ場合、7営業日以内に移転を行うことが求められる。
- 5日 カッツ運輸大臣、クネセット国家統制委員会において、3月30日開業予定を半年間延期したテルアビブ-エルサレム高速鉄道につき、9月には必ず運行すると誓った。
- 6日 ロイヤルダッチシェルは、ガザ地区の天然ガス田の権益を放棄。現在権利者はパレスチナ投資ファンドのみ。パレスチナ自治政府は、新たな多国籍企業を探している。
- 6日 テルアビブ・エルサレム高速鉄道の開業が6カ月延長され、9月23日に。カッツ運輸大臣は、安全上の理由から運営会社及び警察の許可が下りなかったと説明した。
- 7日 スーパーマーケット大手 Tiv Taam が「選択する自由」を掲げた広告キャンペーンを開始。安息日(金曜日没から土曜日没)の営業を禁止する新法案に対抗したものの。
- 7日 イスラエル・パレスチナのコンソーシアムがロシュハヤイン近郊の石油掘削事業に入札見込み。既存事業者は少量しか掘削できておらず、エネルギー省が再入札予定。
- 7日 四川航空が、テルアビブ-成都間の直行便を開通する。8月から火・土の週2便。イスラエル-中国の直行便は、北京のみの時代が長かったが、近年急激に増加している。
- 7日 テルアビブを拠点とするミルク&ハニー蒸留所が、2シリーズ目となるシングルモルトウィスキーの販売を開始。同蒸留所は Indigogo でクラウド資金調達を行った。
- 8日 財務省によれば、イスラエルの公務員給与、2007-2016年の10年間で22.9%上昇した。これはイスラエル経済の平均給与上昇(6%)の約4倍にあたる。
- 11日 シュタイニッツ・エネルギー相「東地中海パイプライン建設につき2019年までに判断」。2,000km、70億ドル規模で、キプロス、ギリシャ経由でイタリアに至る。
- 11日 財務省発表によれば、政府職員の平均給与は2007年10,893NIS/月から2016年15,772NIS/月まで実質22.9%増加。同期の民間部門の給与は実質6%増だった。
- 11日 エネルギー大手シェルが、リバイアサン及びアフロディーテ(ギリシャ)天然ガス田からガス購入を検討中。10年で250億ドル以上の契約になると見られる。

- 12日 OECDの警告。今後40年で超正統派ユダヤ教徒及びアラブ系の人口はイスラエルの過半に到達。彼らの労働市場への統合に失敗すればハイテク産業は弱まるだろう。
- 12日 世界最大の音楽ストリーミングサービス Spotify がイスラエルでサービス開始。内容は競合とほぼ同じで、月20NISで3,500万曲提供。イスラエル楽曲も増やす。
- 13日 格安航空イスラエアーがスコットランド(エディンバラ)及びノルウェー(オスロ)向けの新直行便を就航する。いずれも週1便。スペイン(テネリフェ)向けも増便。
- 14日 OECDとIMFがそれぞれ出した報告書は、いずれもイスラエルの交通渋滞は先進国で最悪だと結論付けている。輸送密度は1キロ2,800台で、OECD平均の3.5倍。
- 15日 2019年予算が議会(クネセット)を通過。賛成62, 反対54票であった。予算総額は4,796億NIS(前年比4.3%増)で、うち630億NISは国防予算である。
- 15日 議会財政委は、公共交通、産業、発電での天然ガス利用を促進し、公害の原因となるディーゼルや石炭の利用を減らすため「グリーン税」を導入することを承認した。
- 15日 カッツ運輸大臣が、アリエル入植地につながるライトレール建設計画を承認した。40億NISプロジェクトで、入植地内の数万人の学生及び居住者に便益をもたらす。
- 18日 イスラエルの標準労働時間が4月から週1時間短縮され週42時間へ。カッツ労働大臣が労働組合ヒスタドルートと雇用者団体である製造者協会との合意を延長した。
- 18日 中央銀行の発表によれば、イスラエルの労働者の通勤時間は平均38分。2011年の32.5分に比べ平均20%長くなった。私用車を有する労働者は公共交通を使わない。
- 19日 イスラエル航空工業(IAI)は、近年人気上昇中の電気航空機を開発中。環境保護と燃料代の節約効果が期待できると見られ、短距離旅客機等への利用が期待される。
- 19日 IKEAは、エルサレム地区 Beit-Shean に新たな支店開設を準備しているが、土地所有者が元々の所有者に許可無く転売したとして、法的問題が発生している。
- 20日 テルアビブ大都市圏の交通渋滞を解消するための大実験が予定されている。アヤロン・ハイウェイ社が実施企業3社を選定中。10億円規模、想定期間は7年。
- 20日 2017年の住宅着工件数は46,320件で、前年の53,950件から14%減少した。住宅価格が下がるに伴ってデベロッパーが新規着工に慎重になっている傾向が伺える。
- 20日 ネタニヤフ首相が、億万長者として知られるイーロン・マスク氏とエルサレム首相公邸で会談。2時間かけて、自動運転など次世代技術展望について語り合った。
- 21日 高等教育審議会が、IDCヘルツェリア大学が博士号を授与することを承認した。私立大学で同権利が認められたのは初めて。ベネット教育大臣が直接関与した。
- 21日 4月22日から、ベングリオン空港の全てのタクシーにクレジットカード払いの受付が義務づけられる。旅行者には現金を持たない者も多く、嬉しい改善だ。
- 22日 カハロン財務大臣は、イスラエル税当局のアシャー長官退任式において「減税を決めた」と発言。具体的な金額等については4月前半のペサハ連休後に発表される。
- 22日 米・イスラエル共同研究助成基金 BIRD エナジーが、再生可能エネルギー案件の募集を行っている。太陽光、風力、先進自動車技術と代替燃料、スマートグリッド等。
- 22日 サマータイムが今夜(23日午前2時)から始まる。時計は1時間進み、午前2時の次の瞬間が午前3時となる。10月27/28日まで。省エネと娯楽促進が目的だ。
- 22日 エアインディアによる歴史的な飛行が実現。デリー-テルアビブ便がサウジアラビア上空を通過した。既存便に比べ飛行時間を2時間短縮した7時間半で到着した。

- 23日 イスラエル法務省は、Facebook が法令に違反してイスラエル市民のプライバシー権を侵害しているのではないかとして、同社に対して行政捜査の開始を通知した。
- 23日 米国がイスラエル人に対するビザ要件を緩和。ビザ保有者並びに失効後 12 カ月以内の者によるビザ更新にあたっては、領事窓口における個人面談が不要となる。
- 23日 ギリシャ Energean 社がイスラエルのガス田に進出。天然ガス 2.4TCF の埋蔵が見込まれるカリッシュ・タニン天然ガス田に 16 億ドルの投資を行う。
- 23日 低価格スーパーマーケットチェーン Rami Levy 社が、新興ドラッグストアチェーン Good Pharm の株 50%を購入した。Sufersal による New Pharm 買収に続く。
- 25日 観光省のホテル新設補助金が、テルアビブにおいてオフィスビルをホテルに改装する事業者にも対象拡大。今年の観光省の助成予算は総額 2.5 億 NIS である。
- 25日 中央銀行は、ビニール袋有料化がスーパーマーケットでの袋利用 80%減につながったことを踏まえ、有料化対象を食料雑貨品店やドラッグストアに広げるよう提言。
- 25日 イスラエルが、米国の鉄鋼税の免除を模索している。鉄・アルミの輸出額はわずか 2,500 万ドルだが、輸入税の見直しにより 60 の小規模企業が打撃を受けるだろう。
- 25日 低価格スーパーマーケットチェーン Rami Levy 社、格安航空 Israil 社と共同で旅行会社設立を検討中。同業の Shufersal 社と旅行会社 Sulliver 社の動きに続くもの。
- 26日 Facebook が、ガザを拠点とするオンラインメディア「Safa」及び同編集者 10 人のアカウントを停止した。Safa はテロ組織ハマスに同調していると見られている。
- 26日 エアインディアのテルアビブ-印デリー直行便がサウジアラビア上空を通過したことを受け、ネタニヤフ首相は更なる通過便が許可されることに期待すると述べた。
- 26日 米オンライン決済サービス PayPal が、BDS（ボイコット・投資引上げ・制裁による反イスラエル運動）を行う仏「ISM」のアカウント 4 つを停止した。
- 26日 政府は、国民ヘルスケアデータの研究や製薬への利用許可を決定。今後 5 年間の 26 億ドル規模のデジタルヘルス計画の一環。予防医療や個別化医療の発展を目指す。
- 26日 国家労働裁判所は、年金計算において、飲食店従業員が受け取るチップを給与として含めるよう命じた。これはフリットマン裁判長の引退前最後の判決となる。
- 28日 都市間交通料金が値下げへ。運輸省は正規料金から 40%引下げとしているが、既に交通カード Rav Kav で 20%割引が一般的であり、それほどの恩恵はなさそうだ。
- 28日 ディスカウント銀行系の投資会社が、衛星運用企業スペースコム社の株式 54.7%を親会社であるユーロコムから 1.6 億 NIS で買い入れることを検討している。
- 28日 英ウイスキー協会調べによれば、2017 年の英国からのスコッチウイスキー輸入量は瓶 450 本分となり、5 年で 3 倍に増加した。8 年前の酒類輸入改革以来の人気だ。
- 28日 サムスンがイスラエルの人工知能スタートアップ Audioburst に 460 万ドル投資。同社は音楽検索サービスを開発しており、スマートテレビに搭載されると見られる。
- 29日 エアインディアのサウジ上空通過便に関し、同様の便を申請中のエル・アル航空が最高裁に対し、自社への許可が出るまでエアインディア便を停止するよう要求。
- 29日 首相官邸の主導でデジタルヘルス・ビッグデータ計画が開始。国民 10 万人のヘルスデータを集めて個別化医療や予防医療の進展を促す。予算規模は 10 億 NIS。
- 29日 中央銀行は報告書で「ハイテク産業は成長し 2011-2017 年で輸出が倍増したが、ある種の“オランダ病”を生んだ。化学品などは取り残され、成長していない」。

主要経済指標

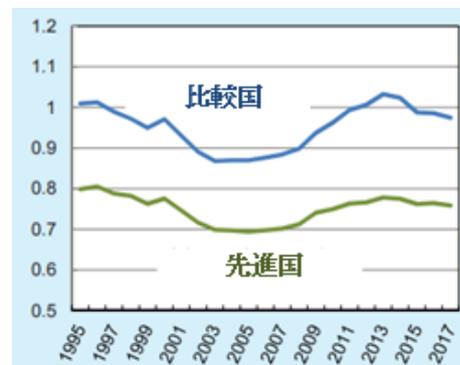
1. 経済成長率（GDP）

● 中央銀行の年次報告書が発表

3月28日、中央銀行フルグ総裁は、議会(クネセット)財務委員会に対して、イスラエル銀行法54条に基づく2017年年次報告書を提出した。主な内容は以下のとおり。

- ✓ 2017年、GDPは前年度と同程度となる3.4%成長し、潜在成長率（約3%）を上回った。世界経済の改善が、消費拡大加速や輸出総量拡大に貢献した。
- ✓ ほとんどの産業や職種において求人率が上昇し、失業率は地方や教育程度の低い労働者ですら過去より低くなっている。実質賃金は過去3年間で加速度的に上昇している。
- ✓ 投資は過去2年間で急速に拡大し、一方で貯蓄率は低下した。結果として経常収支黒字は減少している。
- ✓ 政府のインフレ緩和策による競争の激化と価格の低減。イスラエルは他の先進国の一部よりも金融緩和政策が緩やかであったが、シェケル高が続いたため、インフレ率は目標範囲や海外のインフレ率を下回った。
- ✓ 中央銀行は金融調整を維持したが、マイナス金利などの例外的な措置は避けた。良好な経済活動、財政の安定性、中程度のインフレ等の要素を考慮したものである。
- ✓ 住宅価格の上昇は減速。政府の、住宅供給拡大や投資家の需要提言政策の結果である。
- ✓ 公的債務の対GDP比は、一時的な税収等のために低下した。政府は支出を増やし減税を行ったので、財政赤字は増加している。
- ✓ 2008年から2013年にかけて、イスラエルの一人当たりGDPは他の先進国よりも急激に伸びていたが、ここ数年は同程度で推移している。一人当たりGDPの額は他の先進国よりも低く、生産性の遅れが残っている。

(注：右図はイスラエルのGDPと他国のGDP比較。「1」はイスラエルと他国のGDPが同水準であることを示し、数字が小さいのはイスラエルのGDPが他国より小さいことを示す。「先進国」はIMF選定による先進国、「比較国」は先進国のうち1995年時点でイスラエルとGDPが同程度（違いが20%未満）であった国を示す)



- ✓ 貧困率は、政府が所得再配分への関与を急激に縮小したにも関わらず、90年代末の水準まで減少した。政府が雇用を増やすために取った政策の成果である。
- ✓ 競争と解放の増加は、明らかに国内市場向け産業の生産性向上に寄与している。輸出の中心は製造業からサービス産業に移っている。これらは大きな経済的利益をもたらす、政策立案者が直面している所得再分配等に係る社会経済課題の救いとなるだろう。

フルグ総裁は財務委員会宛レターにおいて、①他の先進国との一人当たりGDP格差を縮めること、②貧困や不平等への対策を進めること、の二つが政策立案者にとっての課題であると述べた。そのためには教育システム全体を改革して多様な背景を持つ学生間の教育格差縮小や、公共輸送を中心としたインフラへの幅広い投資などが重要であると述べている。

出典：イスラエル中央銀行年次報告書 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/RegularPublications/Pages/DochBankIsrael2017.aspx>)

2. 消費者物価指数 (CPI)

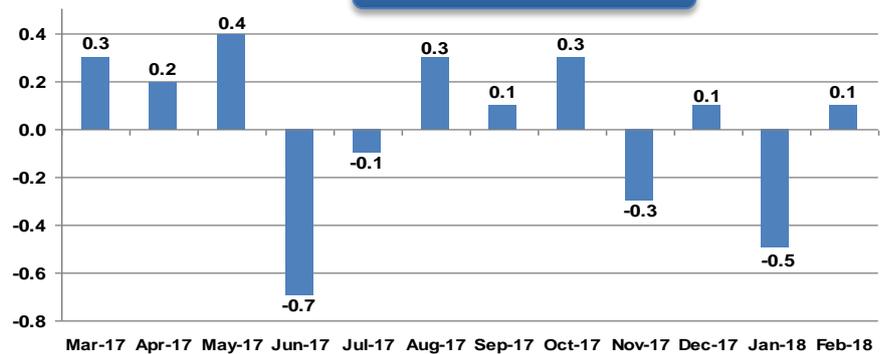
● 2月期のCPIは0.1%上昇。

中央統計局の発表によれば、2018年2月期の消費者物価指数は0.1%上昇した。

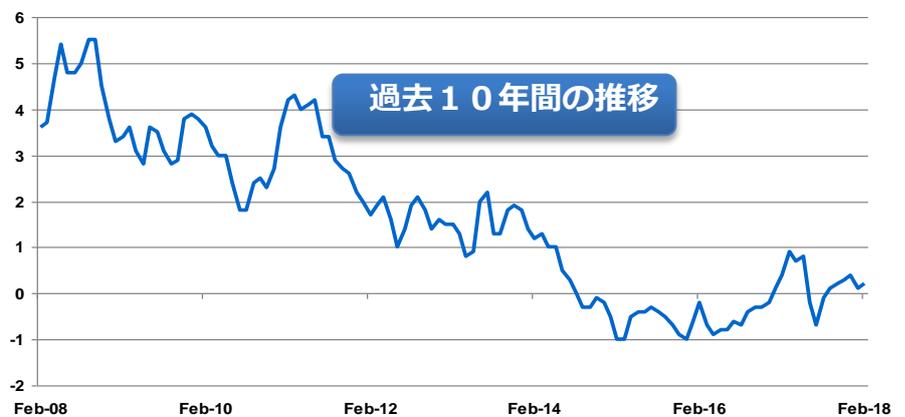
2月期に価格上昇が著しかった製品は、生果物(9.4%高)や交通(0.8%高)で、逆に低下が著しかった製品は衣料・靴(4.6%)、生野菜(2.2%)、通信(1.3%)などである。

グラフ出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201810079) :

過去12カ月の推移



過去10年間の推移



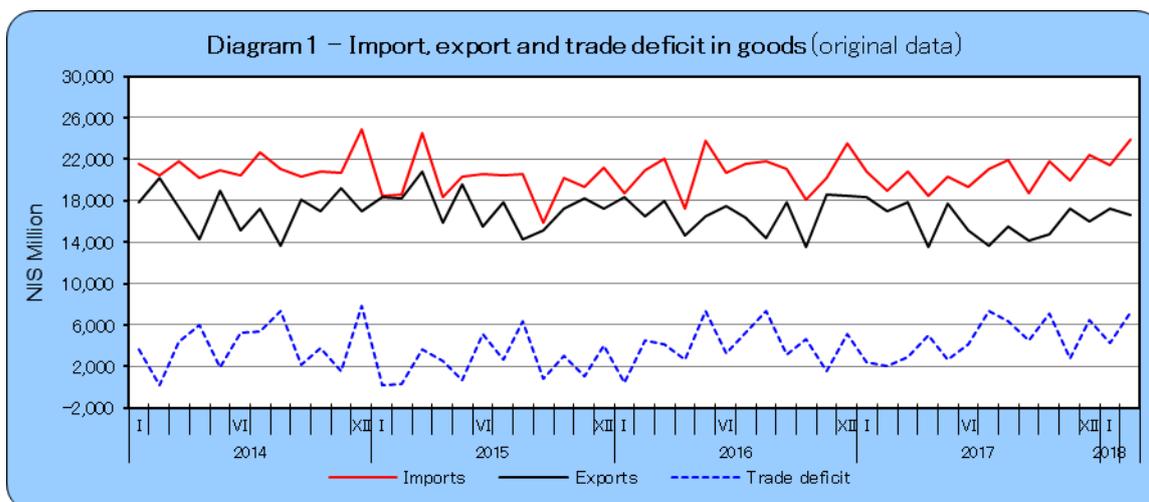
3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

- 2018年2月期は原材料輸入が17.9%増、耐久消費財輸入が44.4%増

中央統計局の発表によれば、2018年2月期の物品輸入は238億NIS、物品輸出は166億NISであり、貿易赤字は72億NISとなった。

物品輸入は直前3カ月間で年率19.2%増加した。輸入の39%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、20%が消費者製品、17%が機械、装置、産業機械であった。残り24%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出は直前3カ月間で年率3.7%増加した。鉱工業製品の輸出が全体の75%を占め、22%がダイヤモンド、3%が農林水産品であった。工業製品輸出のうち48%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率8.6%減少した。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

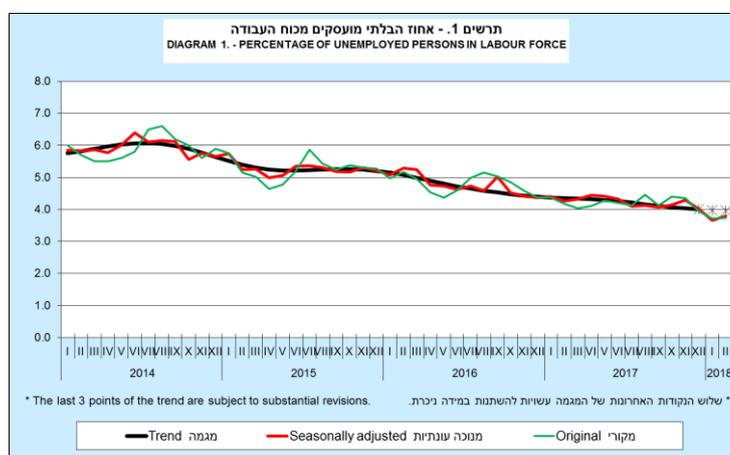
出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201816072)

4. 失業率推移 (UNEMPLOYMENT RATE)

- 2018年2月期の失業率は3.8%

中央統計局は、2018年2月期の失業率は3.8%であり、2018年1月期と比べて0.1%上昇したと発表した。性別で見ると男性は4.0%（前月比0.5%増）、女性は3.5%（前月0.4%減）となった。

15才以上人口における労働人口は405.5万人、うち被雇用者数は390.1万人（男性204.4万人、女性182.4万人）となった。労働参加率は64.2%で、前月から0.6%増。



出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201820094)

5. 為替推移 (EXCHANGE RATE)

● 3月、貿易戦争の恐怖からシェケル高進むも、後半は落ち着く

3月1日に米トランプ大統領が鉄鋼・アルミニウムに対する追加関税について発表した後、ドルが世界市場で下落。この反動でシェケル高が進み、3月2日の銀行間取引レートは、前営業日（2月28日）に比べ1.04%ドル安の1ドル3.449NISとなった。

これに追い打ちをかけたのが、米国のメリルリンチ銀行及びモルガン・スタンレー銀行による「イスラエル中央銀行はシェケル高を妨げるための積極的な介入は行わないだろう」と「買い」を薦めたことである。イスラエルの大手外貨投資グループ PRICO は、「中央銀行が月20-30億ドルの買入れを行わなければ、市場では誰もこの動きを吸収できない。介入を行わないのであれば、シェケル-ドル金利は2008年の1ドル3.22NISという低水準に戻るだろう。中央銀行は外貨準備高 GDP 比を増加させており、現在のように市場の歪みがある際にこれに介入できることは明らかである」と介入を求めた。中銀による2月の外貨購入は3.04億ドルであった。

シェケルは、3月14日午前には1ドル3.422NISまで上がったが、その後揺り戻した。21日米連邦準備理事会（FRB）において金利引き上げが予想されたことから、それに向けて徐々にシェケル安が進んだ。貿易戦争への懸念も払拭され、29日には2月21日以来1ドル3.50NISを超えるレートとなった。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-shekel-gains-sharply-as-trade-war-fears-spook-dollar-1001226005>, <http://www.globes.co.il/en/article-merrill-lynch-recommends-buying-shekel-1001226170>, <http://www.globes.co.il/en/article-prico-boi-must-buy-2-3b-monthly-to-keep-shekel-stable-1001226314>, <http://www.globes.co.il/en/article-shekel-gains-as-foreign-exchange-reserves-fall-1001226790>, <http://www.globes.co.il/en/article-shekel-thrives-on-dollar-euro-woes-1001227682>, <http://www.globes.co.il/en/article-shekel-weakening-ahead-of-expected-us-rate-hike-1001228486>, <http://www.globes.co.il/en/article-shekel-depreciation-takes-its-above-nis-350-1001229969>)

6. 公定歩合 (INTEREST RATE)

3月は公定歩合の更新はなし。次の改訂発表日は、4月16日。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/26-2-18.aspx>)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● イスラエルの外貨準備高、ついに減少。2016年以來初めて。

中央銀行による7日の発表によれば、2018年2月末時点の外貨準備高は、前月比13.29億ドル増加し、1,163億ドルとなった。現在、外貨準備高はGDPの33.1%を占める。12カ月前の外貨準備高は1,020億ドルであった。

減少の要因は、準備金総額の再評価（13.27億ドル）、海外からの政府移転（2.92億ドル）、民間移転（1,400万ドル）である。一方、天然ガス生産に伴う為替への影響を相殺するための政府プログラムにより、政府は外貨3.04億ドルを追加購入した。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/7-3-18.aspx>)

8. 主要株価推移 (TA35)

● 3月のテルアビブ証券取引所 (TASE) 関連ニュース

8日, TASE は, 世界の 50 以上の取引所と共に, 世界女性の日を祝うオープニングベルセレモニーを行った。中央銀行やイスラエル証券局等の女性幹部が参加した。

13日, 議会(クネセット)は, TASE 上場に伴う株式発行手数料等を, 税額控除の対象とすることを決定。14日以降, 企業の上場費用が軽減され, 上場促進が期待される。

28日, TASE-35 派生商品取引を増やすため, TASE が 5月1日からインセンティブプログラムを開始する。デリバティブ取引による利益増分の 30%が参加者に還元される。

● 月間推移



● 年間推移



出典：テルアビブ証券取引所 (<http://www.tase.co.il/eng/pages/homepage.aspx>)

日本-イスラエル 経済関係

(出典：各社等発表，報道)

自動車 デンソー，イスラエルでサイバー，AI 等の研究開発を始動

株式会社デンソー（本社：愛知県刈谷市、社長：有馬浩二）は、2018年4月より、自動運転やサイバーセキュリティ、AI等の先端技術に関する研究開発をイスラエルにて新たに開始する。現地のスタートアップと協働することにより、さらなる技術開発を進める。

デンソーは、顧客ニーズに沿った競争力のある製品開発を推進するため、世界中に先端R&D機能を配置し、現地の大学、研究機関、スタートアップ企業などさまざまなパートナーとともに、地域特性を生かした新しい技術開発を行っている。サイバーセキュリティや通信、AI、センシング、ソフトウェアなどの分野で先進的な技術開発が行われていることで注目されているイスラエルで、自社開発のみならず、現地企業や大学と幅広くパートナーシップを開拓して共同研究を行うことで、より競争力のある技術開発を加速させる。

出典：株式会社デンソー・プレスリリース (<https://www.denso.com/jp/ja/news/news-releases/2018/20180328-01/>)

素材 TDK，急速充電 STOREDOT と戦略的提携，出資

TDK株式会社（社長：石黒成直）は、イスラエルのベンチャー企業でリチウムイオン電池の急速充電技術を得意とする StoreDot Ltd.（CEO and Founder：Doron Myersdorf、以下 StoreDot 社）と共同開発契約を締結し、TDK から StoreDot 社に出資を行った。StoreDot の急速充電技術を早期に商業化することを目指している。

StoreDot 社は、イスラエルのヘルツェリアに2012年に創設されたベンチャー企業で、電池に関連する新素材を開発している。同社の急速充電技術である「フラッシュバッテリー技術」は、スマートフォンを約5分で充電することが可能となる技術。今後、TDKの二次電池事業の付加価値を高めるために必要な技術であると判断し、出資に至った。

出典：TDK株式会社・プレスリリース (http://www.tdk.co.jp/corp/ja/news_center/press/20180301_01.htm)

サイバー グローバルブリッジ，テルアビブに現地事務所を開設

イスラエルの有望なスタートアップ企業と日本企業とのビジネスマッチングを支援する、合同会社グローバルブリッジ (<https://www.gbllc.net/>) は、現地のサイバーセキュリティコンサルタント、Cyberyg と提携し、テルアビブに事務所を開設した。

合同会社グローバルブリッジ（英語名 Global Bridge LLC、代表 新井均）は、長年にわたるイスラエル企業とのビジネス経験を活かし、主にサイバーセキュリティ分野において優れた技術・商品を持つイスラエルのスタートアップ企業の、日本のビジネスパートナー発掘をサポートしてきた。

出典：合同会社グローバルブリッジ・プレスリリース (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000001.000031955.html>)

通信 熊本モバイル、バーチャル SIM 技術の SIMGO 製品取扱開始

熊本電力株式会社の関連会社である熊本モバイル株式会社（本社：熊本県熊本市中央区、代表取締役：竹元一真）は、2018年3月2日より、Simgo Mobile Ltd（本社：イスラエル、CEO：ベン・シュラッシュ、以下 Simgo 社）が提供する国内と海外で利用可能なモバイル WiFi ルーター SG800 の取扱を開始する。ビックカメラグループの Web サイトで先行販売を開始し、今後、一部店舗での取扱いも予定している。

Simgo のバーチャル SIM 技術により、国内はデータ無制限での利用が可能となり、海外では現地 SIM への入替えが不要となる。

出典：熊本モバイル株式会社・プレスリリース (http://kumamotomobile.ne.jp/pressrelease/20180301_1.pdf)

アニメ エルサレムでアニメ・漫画の祭典、大使もルイージ姿に

3月1日、エルサレムでアニメ・漫画ファンが集うイベント「ハルコン」が開催された。例年、ユダヤ教の祝日「プリム」に合わせて開催され、11回目となる今回は約3,300人が参加した。

同イベントには、出展者も来場者も仮装で参加することが通例となっており、参加者は皆、思い思いのコスプレで会場を訪れていた。富田浩司・駐イスラエル日本大使も、人気ゲーム「マリオシリーズ」のマリオの双子の弟ルイージの姿で参加し、参加者がコスプレ衣装を披露するプログラムに登壇して挨拶した。



出典：報道・朝日新聞 (<https://www.asahi.com/articles/ASL3223Q2L32UHBI006.html>)，毎日新聞 (<https://mainichi.jp/articles/20180302/k00/00e/030/302000c>)，時事通信 (<https://www.jiji.com/jc/article?k=2018030200184&g=soc>)，産経新聞／共同通信 (<http://www.sankei.com/photo/story/news/180302/sty1803020001-n1.html>)

企業 DB ジャコーレ、イスラエル企業 DB の IVC リサーチと提携

イスラエル企業と日本企業をつなぐコンサルティングサービスを提供するジャコーレ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：平戸慎太郎、以下ジャコーレ）は、2018年3月5日付で、イスラエル最大級の企業情報データベースを保有する IVC Research Center Ltd（本社：テルアビブ、CEO Benzi Segev、以下 IVC）と日本の企業として初めて提携した。今回の提携により、イスラエル企業データベースやイスラエルハイテク産業に関する市場調査レポートの販売、ならびに IVC が日々発信する英語の情報から厳選したものを日本語へ翻訳し日本市場への新たな情報発信を開始する。

出典：ジャコーレ株式会社プレスリリース (<https://www.jakore.com/pr-20180305>)

芸術 イスラエル博物館が上野でエッシャー展, ”だまし絵” など

“だまし絵”で知られる版画家マウリッツ・コルネリス・エッシャーコレクションについて、世界最大級のコレクションを誇るイスラエル博物館が、日本で「ミラクル・エッシャー展」を開催する。代表的なだまし絵の作品に加え、初期に制作された作品、さらにその版画制作に使用された板や直筆のドローイングが加わった約 150 点が日本初公開される。

ナビゲーターと音声ガイドをバカリズムが、公式イメージソングをサカナクションが務める。6月6日から7月29日まで、上野の森美術館。

出典：ミラクル・エッシャー展ウェブサイト (<http://www.escher.jp>)

起業家 ゼロワンブースター, 東京でイスラエル MEETUP イベント

事業創造アクセラレーター・コーポレートアクセラレーターを運営する株式会社ゼロワンブースター（本社：東京都港区東麻布、代表取締役：鈴木規文）は、イスラエルの起業チームおよび連続起業家（シリアルアントレプレナー）のギリ・セグラ氏を招いて日本との事業創造コミュニティを活性化するミートアップ（Meet-up）イベントを3月27日に開催。

出典：株式会社ゼロワンブースター・プレスリリース (<https://01booster.com/events/177>)

IOT CRI ミドルウェア, IOT セキュリティ TERA FENCE に投資

株式会社CRI・ミドルウェア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：押見正雄）は、IoTサイバーセキュリティ製品の開発を行うイスラエル企業 Terafence（本社：ハイファ、CEO：Hezi Erez）と資本業務提携を行う。CRI・ミドルウェアが Terafence に対して200万ドルの投資を行い、投資実行後の持株比率は約16%となる。

CRI・ミドルウェアは、自社の高度な動画圧縮技術を生かして、ネットワーク監視カメラ市場向けの動画圧縮システム（高圧縮トランスコーダー）の展開を進めている。IoTデバイス向けの技術を有する Terafence が開発するセキュリティ技術と組み合わせることで、「監視カメラ/セキュリティソリューション」を実現し、ネットワークセキュリティの重要性が謳われるIoT分野や重要インフラ制御システムに展開していく。

出典：株式会社CRI・ミドルウェア・ウェブサイト (<https://www.cri-mw.co.jp/ir/index.html>) , 同社発表 (<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1565329>)

地域協力 ハネグビ地域協力大臣が訪日, 河野外相と夕食会

3月21日から27日まで、ツアヒ・ハネグビ・イスラエル国地域協力大臣（H.E.Mr.Tzachi Hanegbi, Minister for Regional Cooperation of State of Israel）が、外務省の閣僚級招へいにより訪日。ハネグビ地域協力大臣は、滞在中、河野太郎外務大臣と会談を行う他、国内地方を訪問した。

22日には河野太郎外務大臣がハネグビ大臣と夕食会を行った。河野大臣から、ハネグビ大臣の訪日を歓迎し、昨年末のイスラエル訪問に触れつつ、二国間関係の一層の強化を図りたい旨述べた。これに対し、ハネグビ大臣から、近年の目覚ましい二国間関係の発展を歓迎し、引き続き様々な分野で日本との協力関係を強化していきたい旨述べた。

出典：外務省ウェブサイト (http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press11_000055.html)

AR/VR ANIWO, 東京でイスラエル AR/VR セミナー開催

3月28日、イスラエルで生まれる革新的な技術と新たなイノベーションを求める日本企業とのマッチングを促進するAniwo社（代表取締役 CEO：寺田 彼日）は、「AR/VR」をテーマとしたイスラエルのスタートアップ情報の発信イベントを開催。AR/VR分野のイスラエルのスタートアップ企業の紹介を行うとともに、有識者による基調講演、当該領域での事業開発を行うスピーカーを交えたパネルディスカッション等を実施。

出典：Aniwo社プレスリリース (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000013.000012729.html>)

セキュリティ 東陽テクニカ、イスラエルと連携してセキュリティ製品提供

株式会社東陽テクニカの社内カンパニー「セキュリティ&ラボカンパニー（以下 SLC）」は3月23日、独自統合型プラットフォーム「TOYO クラウド」を、4月1日から提供すると発表した。TOYOクラウドでは、複数のセキュリティベンダーの最新のソリューションやサービスを組み込んで、顧客ごとに関連するセキュリティ情報を統合し、リアルタイムにワンストップで提供する。SLCは、国家戦略としてサイバー先進国化が進むイスラエル企業との関係を拡大して、サービスソリューション型・エンジニアリング型のサービス提供を実現を目指す。

TOYOクラウド上で提供される2つのセキュリティサービスのうち、「脅威インテリジェンスサービス」では、イスラエル諜報機関出身アナリストの経験を元に開発された専用エンジンを使って、インターネット上の顧客に係る脅威情報を自動収集・分析（注：東陽テクニカは、ヘルツェリア本社で脅威可視化技術を有するIntSights Cyber Intelligence社と提携している）。

「AIログ解析サービス」では、顧客の所有するIoT・セキュリティ機器、サーバ、アプリケーション、AWS/Azureクラウドなど様々な種類のログを一元的に収集・管理し、イスラエルパートナーのビッグデータ・AI技術を利用して迅速に脅威を自動検出する（東陽テクニカは、ラマトガン本社でAIログ収集・解析技術を有するempow社と提携している）。

出典：株式会社東陽テクニカ・プレスリリース (https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/doc/release/180323_TOYO_TOYOCloud_66122.pdf)

展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

農業 AGRITECH（2018年5月8～10日、テルアビブ）

農業関連技術の国際展示会。製造、マーケティング、研究開発など、農業に関わる多様な企業が参加する。「イノベーションパビリオン」も設置され、イスラエルにおける最先端のイノベティブな農業技術が紹介される。

<http://agritechisrael.org>

原子力 原子力社会会議（2018年5月8～10日、ヘルツェリア）

原子力医療と放射線防護分野の国際会議で、特に医学における放射線防護に着目した多様なトピックをカバーする。放射線防護関連のセッションは9日に集中する予定。

<http://ins-conference.com>

アドテク VIDEO AD（2018年5月15日、テルアビブ）

プログラマブル動画に関する年次カンファレンス。昨年は700人以上、350社以上の参加があった。今年はアドテクでのブロックチェーン利用、女性リーダー等を取り上げる。

<https://www.facebook.com/Video-Advertising-Israel-Video-trends-Conference-173236119749873/>

電気 RAX（2018年5月15～17日、テルアビブ）

電気工学、制御、計測、自動化、空気圧、照明システム、エネルギー及びエネルギー効率化などの分野を扱う国際展示会。隔年開催で、今回が第25回。例年数千人が参加している。

<http://www.stier.co.il/rax/en/>

バイオ MIXIII BIOMED（2018年5月15～17日、テルアビブ）

ヘルスケアやライフサイエンスの将来について議論する国際会議・展示会。今年はデジタルヘルス、次世代腫瘍治療、ブレインヘルス、個別化診断・治療、遺伝子治療、ナノ医療、アカデミアから産業へ、産先端医療機器技術、臨床試験技術と創薬加速化、等を取り上げる。

<http://kenes-exhibitions.com/biomed/>

セキュリティ WARFARE (2018年5月15～16日, テルアビブ)

イスラエルディフェンス社主催, IICC (インテリジェンス・遺産と記憶センター) が共催する「複雑で変化する環境における挑戦及び機会」に関するカンファレンス。国防総省協力, ガラント住宅建設大臣(安全保障閣議メンバー)及びカツツ諜報兼運輸大臣が参加する。

<http://warfare.israeldefense.co.il>

新規 **新技術** NEW-TECH (2018年5月29～30日, テルアビブ)

ハイテク・電子機器分野の展示会。150社以上が出展し, 電子部品, 生産プロセス, 設計, エンジニアリング, 調達, 生産・試験サービス等の多様な分野の技術が提供される。期間中, 「OPT-TECH 2018」「ROBOTICS 2018」, 「The Israeli Start Up Conference」, 「IoT 2018」などのサイドイベントも多数開催。

<http://www.new-techevents.com/robotics/>

新規 **モバイル** MOBILE SUMMIT (2018年6月5日, テルアビブ)

モバイルアプリやゲーム等の技術展示会。20カ国以上から2,000人以上が参加し, 4日に交流イベント, 5日に懇親会が開催される。スタートアップコンテストも併催。

<http://www.israelmobilesummit.com>

旅行技術 TRAVELTECH BOOTCAMP (2018年6月10～14日, エイラット)

エイラット市等が設立したビジネス支援組織「エイラットハブ」が主催する, 旅行技術に関するスタートアップ向けイベント。5日間のブートキャンプ形式で, メンターからの指導を受けてビジネスや法制度, グローバル旅行産業の投資態度等について学び, ピッチを行う。

<https://www.eilathub.co.il/eilat-hub-innovel-travel-tech-bootcamp-2018/>

新規 **金融技術** BROCKCHAIN CONF (2018年6月14日, エルサレム)

ブロックチェーン技術に関するカンファレンス。業界のリーダーや実務家, 専門家を集めて, アジャイル管理, ソフトウェアテスト領域, 技術, 開発, ベストプラクティス等を議論。

<https://www.agileglobalevent.com/conference/technology/blockchain-jerusalem>

サイバー CYBERWEEK (2018年6月17～21日, テルアビブ)

テルアビブ大学が主催するサイバーセキュリティに関する学術会議。一週間にわたり, メイン会場での学術会議に加え, ラウンドテーブルやパネルディスカッションなど多様なサイドイベントが開催される。

<https://cyberweek.tau.ac.il/>

ナノテク NANO.IL.2018 (2018年10月9～11日, エルサレム)

イスラエルの国家ナノテクイニシアチブ (INNI) と、イスラエル各大学のナノテクセンターが共同で開催する、ナノテクノロジー分野の国際会議・展示会。経済産業省と外務省が後援する。

<http://nanoilconf.com/>

新規 **キブツ** KIBBUTZ INDUSTRIES (2018年10月18日, テルアビブ)

イスラエルの経済共同体「キブツ」発祥企業のCEOやCFOが集まり、キブツ産業について議論するカンファレンス。昨年は300社以上が参加した。

<http://www.dc-finance.com/the-annual-economic-conference-for-kibbutz-industry-about>

セキュリティ H L S & サイバー (2018年11月12～15日, テルアビブ)

イスラエル輸出国際機構が主催する、物理セキュリティ (H L S) 及びサイバーセキュリティに関する国際展示会。隔年開催で、前回は160社が出展し、80カ国以上から計5,000人の来場があった。

<http://israelhlscyber.com>